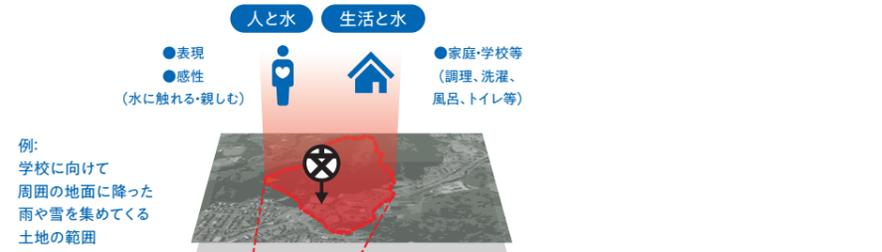


「流域」「水循環」と 人・生活とのつながりイメージの例

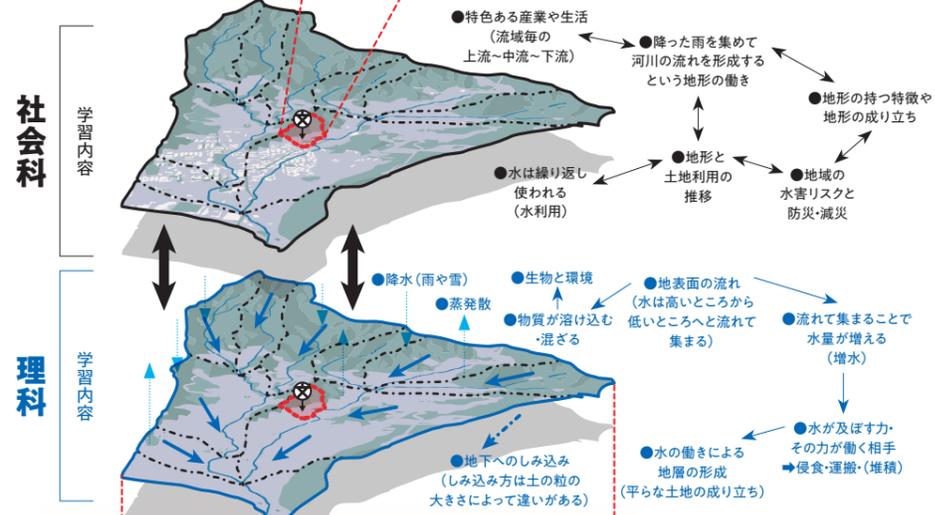
身近なスケール

流域のスケール／細



支川レベル

流域のスケール／小



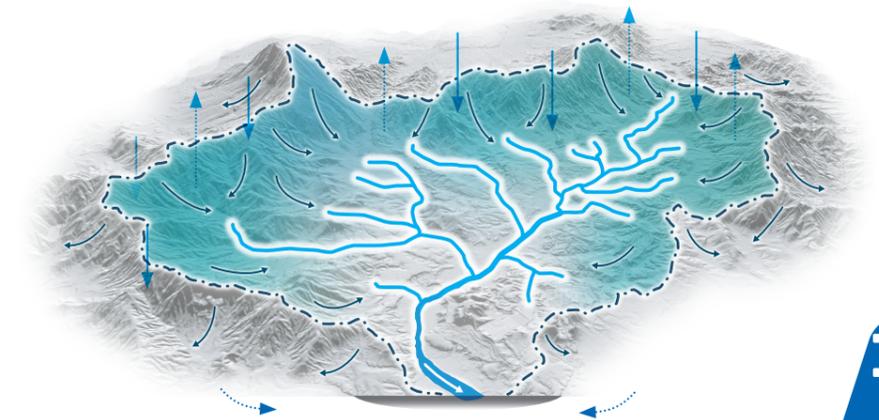
大河川レベル

流域のスケール／大



河川・水の学び

公益財団法人 河川財団



書籍
紹介

生きる力を のばす教育

著者:
公益財団法人 河川財団
発行所:
教育出版株式会社
ISBN978-4-316-80513-9

子どもの発達段階に応じて知識を関連付け、
概念形成に役立つ河川・水の学び

推薦のことば

国立教育政策研究所名誉所員 角屋重樹 先生

総合的な学習の時間、理科、社会科、
防災教育において役立つ
河川・水の学び

河川や水を対象にした学びにより、子どもの発達段階に応じて、新しい知やその構築のしかた、体系化が獲得されると確信する。そして、河川や水に関する新しい知の体系化の過程において、子どもがどのような状況でも自らが生きていく力を獲得していくと確信する。

発行：公益財団法人 河川財団
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町11-9
住友生命日本橋小伝馬町ビル2F



さらに詳しい内容は
書籍版「河川・水の学び(教育出版)」を
ご覧ください。
著者:公益財団法人 河川財団
ISBN978-4-316-80513-9



2

総合的な学習の時間

「防災」「環境」「地域」など、身近な課題、生活や社会とつながりのある課題を通じた探究・ものごとの全体を一つの系(システム)と捉えた学び

教科書がない総合的な学習の時間では、学習内容や育成する資質・能力を学校ごとに設定する必要がある。この資料は、総合的な学習の時間の単元に、地域の実態に応じた河川・水に関する課題をとりあげようとする学校に具体的な示唆を与えてくれる。

北海道教育大学大学院 教育学研究科 高度教職実践専攻 教授 渋谷 一典

3

理科・社会科

流域・水循環という捉え方により、自然現象と社会的事象の関連性を学ぶ

理科

水害の発生機構や土地の成り立ちの理解など流域・水循環という捉え方から原理原則を学ぶ

理科で学ぶ自然現象を、人や社会にどのように影響を及ぼすかという社会的事象に無理なく結び付けられる

これまでの小学校理科における河川・水に関わる単元は、それぞれの学習内容が独立していると感じていた。「システム思考」を取り入れることで、それらの単元同士が、循環の一部としてつながることが期待される。

帝京大学 教育学部 初等教育学科 准教授 阪本 秀典

流域に豪雨が降れば河川は増水し、それが防災対策を上回れば水害が発生する。自然、人、社会などの関係を体系的に考える上で、貴重な機会(教材)になると期待している。

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課長 豊口 佳之

1

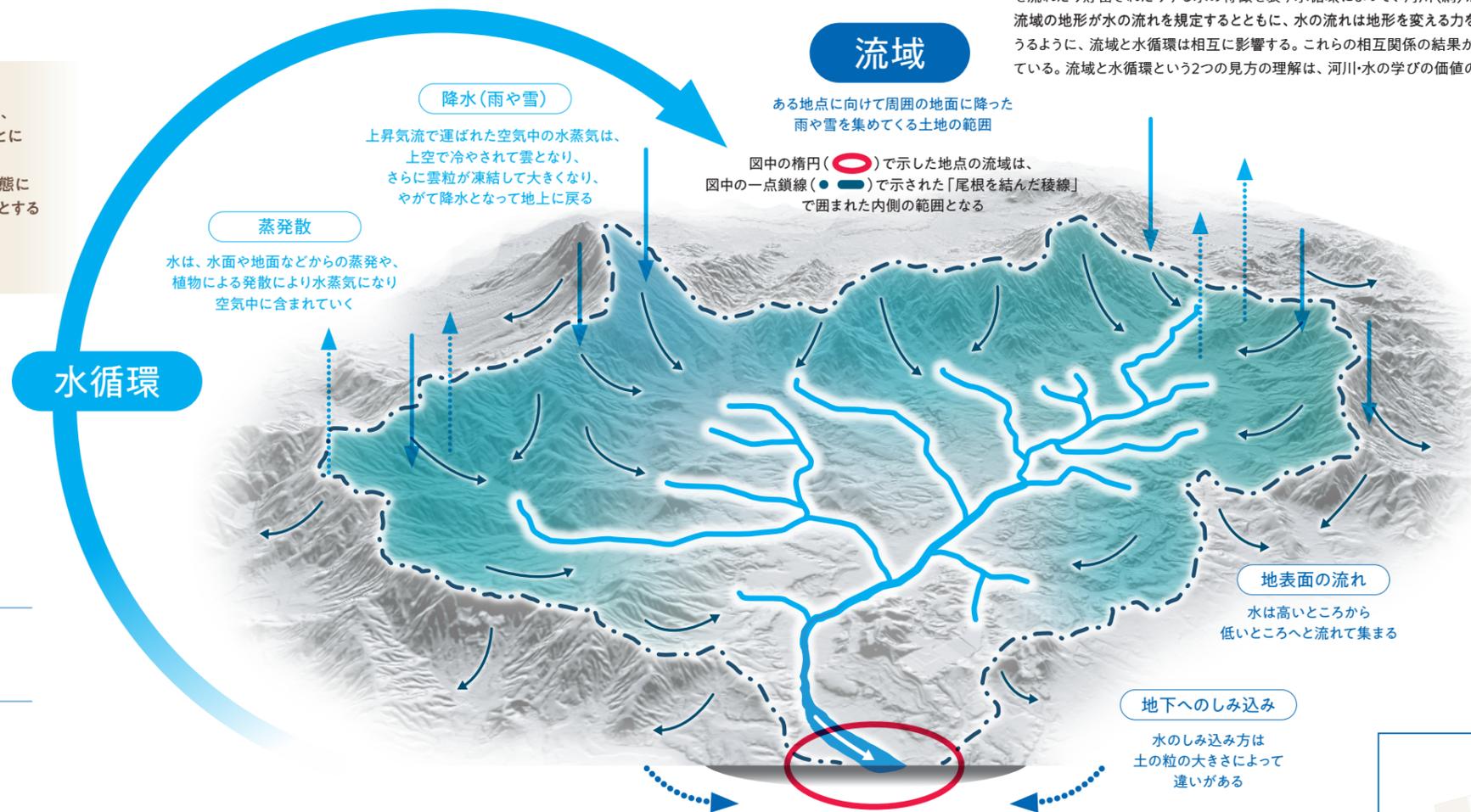
河川・水の学びがもつ価値の概観

身近であるがゆえに普段あまり意識されることのない水と、その水の働きにより形成される身近な自然の事物としての河川についての学びを、学校教育において意識的に活用することで、児童・生徒が、物事を関連付けながら概念を構築し、体系化した上で体得していく学習能力の向上に役立てる。

また、河川や水を学びの対象とすることで、自らの言葉で他者とコミュニケーションをする能力向上や、自然を愛する情操も同時に育むことを目指す取り組み。

水循環と流域の概念

流域のイメージ：地理院地図のツール(3D)で作成した図を加工して河川財団において作成



社会科

流域という地形の捉え方・水の循環から人々との関係を学ぶ

社会科で学ぶ社会的事象を通して、理科で学んだ知識をその活用方法について認識したうえで、深く理解できる

社会科では「浄水場」や「地域に水を引いた先人」の背景にとどまりがちな河川。流域や水循環の見方や捉え方を導入することによって、子供達に新たな思考や行動を促す社会科学習を提案しようとしている。

日本体育大学 児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科 教授 田口 紘子

河川・水教育により、子どもたちが部分的な理解から脱却し、全体的かつ包括的に物事を考えることができます。そして、持続可能な未来を築くための視点を示してくれる。

赤磐市立山陽小学校 校長 岸本 勝義

4

幼児教育・生活科

水に触れることで、自然現象についての感覚的な理解を深める

幼児教育

水に触れて親しみなどの諸感覚を通じた遊びで幼児教育へ貢献

生活科

幼児期の体験が、低学年での学習へとつながり、中学年以降の実感を伴った理解への基礎となる

幼児教育が小学校以降の学びにどのように繋がるのか書かれており、幼・小の連携を円滑にする助けになる

学校法人ろりぽっぶ学園 ろりぽっぶ小学校・こども園・保育園・学童・小規模保育園 ろりぽっぶ小学校 校長 高橋 元気

5

段階的発展が可能な河川・水の学び

河川・水の学びは、教科等を横断し、つながりを持ちながら段階的に発展

河川・水の学びは発達段階に応じて一貫して教育に貢献できる教科等を縦断的・横断的に取り組むことで、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力及び学習の基盤となる資質・能力の育成に貢献できる

「河川・水の学び授業展開例」

河川・水教育の実践にあたり、以下「河川・水の学び授業展開例」を参考にご利用ください。



中学校では教科が独立しているが、教師がシステム思考を取り入れることで、教科間の繋がりが深まることから、初等教育だけでなく中等教育においても有効な内容である。

広島県三次市立甲奴中学校 校長 佐伯 貴昭